

大甕幼稚園の現状と今後について

1 大甕幼稚園の現状

(1) 大甕地区児童の通園状況と大甕幼稚園園児数の状況(令和7年7月1日時点)

(単位:人)

大 甕 地 区		R6年度生 0歳	R5年度生 1歳	R4年度生 2歳	R3年度生 3歳	R2年度生 4歳	R元年度生 5歳
	居住(住基)人口	8	13	17	15	12	16
	通園している児	3	11	8	15	12	16
	通園先内訳 ・色の別 (黒)公立園(大甕) (青)私立園 (赤)公立園	公立園1 私立園2	私立園11	公立園1 私立園7	大甕3 公立園4 私立園8	大甕5 私立園7	大甕4 私立園11 公立園1
	大甕幼稚園園児数	-	-	-	12	13	11
	居住地区(住登外含む)	-	-	-	大甕3 太田3 原町6	大甕5 太田1 原町7	大甕5 太田1 原町5
	通園していない児	5	2	9	0	0	0

(2) 令和8年度大甕幼稚園園児数の見込み(令和8年3月時点)

区分	R7.4.1 時点	R8.4.1 時点(見込)	差
5歳児	12名	11名	-1名
4歳児	12名	12名	±0名
3歳児	12名	9名	-3名
合計	36名	32名	-4名

2 大甕幼稚園の今後

令和3年2月に策定した「南相馬市幼稚園・保育園等のあり方に関する課題・対応方針」において、「各学年の園児数の下限について、「3歳児：10人、4歳児：15人、5歳児：15人」とし、下限に満たない学年が発生したときは「統廃合優先施設」に位置付け、施設の統廃合を含めた検討を開始する。」と定めています。

原町区においては、長期的な視点で私立施設の定員確保を最優先とし、公立幼稚園の今後のあり方を検討することとしており、検討にあたっては「南相馬市幼稚園・保育園等あり方検討委員会」において、大甕幼稚園も含めた公立幼稚園の今後のあり方を検討します。